

私立大学図書館協会 2010 年度第 1 回常任幹事会議事要録

- 1 日 時 2010 年 4 月 9 日（金） 14 時 30 分 ～ 17 時 5 分
- 2 場 所 関西大学 総合図書館 第 1 会議室
- 3 出席者 配付資料 1 のとおり

議事に先立ち、会長校関西大学図書館の北川館長（議長）より挨拶の後、出席者の自己紹介があった。

<報告事項>

1 協会会務報告

(1) 加盟校数について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき次の報告があった。

- ① 2009 年度加盟校数は 2009 年 4 月 1 日現在、東地区 259 校、西地区 261 校、合計 520 校である。
- ② 2010 年度新規加盟校（予定）は 2010 年 4 月 5 日現在、申し込みはない。
- ③ 2010 年 4 月 5 日現在、東地区 2 校、西地区 3 校の脱退届を受理した。来る総会で承認後、2010 年 4 月 1 日付で正式に脱退が承認される予定である。
- ④ 2010 年度加盟校数（予定）は東地区 257 校、西地区 258 校、合計 515 校となる予定である。

(2) 加盟館名称変更について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき、2009 年 8 月 27 日以後 2010 年 4 月 5 日までに次の 4 件の連絡があったことの報告があった。

東地区 ◎目白大学新宿図書館

→ 目白大学図書館

西地区 ◎福岡経済大学図書館

→ 福岡経済大学図書館・情報センター

◎宝塚造形芸術大学図書館

→ 宝塚大学図書館

◎中京女子大学附属図書館

→ 至学館大学附属図書館

(3) 加盟校への書類等の送付について

会長校関西大学（金）より配付資料 3 にもとづき、2010 年 3 月 5 日開催の東西合同役員会以後に以下の書類を加盟大学図書館宛に送付したことの報告があ

った。

なお「大学図書館間協力における資料複写に関する合意書」は国公立大学図書館協力委員会から届きしだい送付するとの補足があった。

① 4月1日付発送

- ・私立大学図書館協会会費および加盟大学在学学生数調査に関する書類
- ・2010年度暫定予算の執行について
- ・第71回総会への議題・承合事項について
- ・協会ホームページについて（お知らせとお願い）
- ・各種届け・申請書について（ご案内）
- ・加盟図書館名簿記載事項変更届
- ・国際図書館協力基金による私立大学図書館協会加盟図書館2010年度第1回寄贈資料搬送事業実施について
- ・2010年度国際図書館協力シンポジウムの開催について

② 4月5日付発送（メールマガジンによる）

- ・図書館におけるRFID導入のためのガイドラインについて
- ・RFID導入のためのガイドライン審議について（依頼）
- ・「図書館におけるRFID導入のためのガイドライン」の検討について（依頼）
- ・図書館におけるRFID導入のためのガイドライン
- ・図書館におけるRFID導入のためのガイドライン解説

③ 4月7日付発送（メールマガジンによる）

- ・平成22年度大学図書館職員長期研修の開催について（通知）
- ・平成22年度大学図書館職員長期研修実施要項

(4) 会報第133号の刊行について

会長校関西大学（金）より標記について、配付資料3にもとづき総会・研究大会特集号として2010年3月8日に刊行したことの報告があった。

2 委員会報告

(1) 国際図書館協力委員会報告

会長校関西大学（赤木）より配付資料4にもとづき、会議報告ならびに中国・長沙大学図書館への寄贈図書搬送が取り消しになったことの報告があった。

3 協会関連事項報告

(1) 日本図書館協会報告

会長校関西大学（金）より配付資料4にもとづき2009年度第2回評議員会が開催されたことの報告があった。

- 4 2010年度国際図書館協力シンポジウムについて
 会長校関西大学（赤木）より配付資料5～6にもとづき、次の報告があった。
 ・2010年3月5日開催の東西合同役員会以後、パネリストに次の2名の異動があった。
 司会者の変更 早稲田大学図書館事務部長 中元誠
 パネリストの決定 京都大学附属図書館研究開発室准教授 古賀崇
 ・4月1日付で加盟館に案内を送付した。
 ・国公立大学図書館協力委員会を通じて4月7日付で国公立大学への周知を依頼した。
- 5 図書館におけるRFID導入のためのガイドラインについて
 会長校関西大学（金）より配付資料7,25～30にもとづき、4月5日付でメールマガジンにより周知文を送付したことの報告があり、次いでRFIDに関して種々情報交換をおこなった。
- 6 2010年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
 会長校関西大学（金）より配付資料8～10にもとづき異動の報告があった。
- 7 2010年度行事・会議予定について
 会長校関西大学（金）より配付資料11にもとづき報告があり、新たに次の日程を決定した。
 ・2010年12月3日（金） 第2回常任幹事会 青山学院大学
 ・2011年3月4日（金） 西地区部会第3回役員会 大阪ガーデンパレス
 ・2011年3月4日（金） 第2回東西合同役員会 大阪ガーデンパレス

<協議事項>

- 1 2009年度一般会計・特別会計決算報告案について
 2010年3月5日開催の東西合同役員会の議を経た標記について、会長校関西大学（金）から配付資料12～15にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。
 ・次年度繰越金は16,501,620円となり前年度と比較して1,865,517円増加した。全体的な節約傾向ならびに前期研究助成委員会活動費の戻入、第70回総会・研究大会からの戻入が増加の要因と考えられる。
 ・研究助成特別会計は予算どおり3社から60万円の寄付があった。
 ・研究助成特別会計の支出は、尚絅大学ならびに西南学院大学、東京基督教大学に対する研究助成を、合わせて693,633円執行した。
 ・国際図書館協力基金特別会計は16社から協力があつた。

- ・国際図書館協力基金特別会計のシンポジウム費が未執行となった。
 - ・国際図書館協力基金特別会計の搬送事業費のうち、中国・長沙大学図書館への搬送が取り消しとなった。
- 協議の結果、異議なく了承された。

2 2010年度事業計画（案）について

2010年3月5日開催の東西合同役員会の議を経た標記について、会長校関西大学（北川、金）より、配付資料16～19にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・東西合同役員会での議論を受けて、諸外国の図書館事情の調査・研究を目的とした新しい制度として、「海外認定研修」および「海外図書館事情調査」を提案したい。前者は、報告書・証憑類による事後申請を受けて5万円程度の補助を行なうもの、後者は予め提出された計画書をもとに事前審査し、上限60万円程度の助成を行なうものである。
 - ・「海外認定研修」および「海外図書館事情調査」の予算は、新規事業であることを明示し、試行的実施の経過を見守るという意味で、一般会計に新たに項目を設けた。この事業が定着すれば次年度以後、特別会計へ振り向ける所作を考えている。
 - ・「海外認定研修」および「海外図書館事情調査」の実施について、6月に開催予定の東地区部会総会ならびに西地区部会総会で広報したい。
- 協議の結果、異議なく了承された。

3 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について

2010年3月5日開催の東西合同役員会の議を経た標記について、会長校関西大学（金）より、配付資料20～23にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・会費収入は2009年度実績の520校を基礎とした。
- ・海外図書館調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費を一般会計に新たに設けた。
- ・通信費および委員会費、総会・研究大会開催支援費、会報刊行費を合わせて100万円減額し、海外図書館事情調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費をそれぞれ50万円ずつ予算化した。
- ・協会HP運営費は電子掲示板の試験的運用に関して外部委託あるいはアルバイト雇用が発生した場合の経費としたい。
- ・研究助成特別会計は寄付金として60万円を予定している。
- ・研究助成金は継続が2件、本年度新規採用が1件である。
- ・国際図書館協力特別会計のシンポジウム運営費に赤字が出れば予備費で補

てんしたい。

・総会・研究大会特別会計に赤字が出れば一般会計の予備費から補てんしたい。
協議の結果、異議なく了承された。

<懇談事項>

- 1 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について
標記の選出状況について確認し、種々懇談を行った。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。